国際臨床医学会雑誌投稿規定

2018 年 3 月 1 日施行

1. 投稿資格

筆頭著者は国際臨床医学会（以下、本会）の会員に限る。ただし、本会学術・編集委員会において企画・承認された特集・招待論文・寄稿等はこの限りではない。

2. 投稿に際しての注意

日本語もしくは英語で作成されたもののみ受け付ける。人体を対象とした研究ではヘルシンキ宣言に準じていなければならない（https://www.wma.net/policies-post/wma-declaration-of-helsinki-ethical-principles-for-medical-resear ch-involving-human-subjects/）。

被検者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意思に基づく同意（インフォームド・コンセント）が必要である。研究課題によっては所属施設の倫理委員会またはこれに準じるものの承認が必要である。

原著論文の審査は査読制とし、掲載は学術・編集委員会が決定する。編集方針に従い原稿の修正、加筆、削除などを求める場合がある。編集上の事項を除き掲載論文の内容に関する 責任は著者にある。

3. 投稿と掲載区分

投稿はデジタルデータ形式の電子ファイルでのみ受付ける。テキストデータ：Microsoft Word およびRTF（Rich Text Format）。画像データ：JPEG、GIF、TIFF、EPS、PNG、 およびMicrosoft PowerPoint。原稿の電子ファイルを後述の編集委員会にE- メールで送付すること。大容量の場合、ファイルストレージサービスを利用もしくは原稿の電子ファイルを保存したCD-ROM、DVD-R、USB フラッシュメモリなどの記録媒体を下記に「書留便」で郵送すること。また、紛失事故などにそなえ、原稿のコピーを手元に残しておくこと。記録媒体の返却はしない。

1）原著論文

リサーチクエスチョンが妥当かつ明確で、科学的研究手法に基づくものであり、新たな知見を提供する論文である。構成、字数等は執筆要項を参照のこと。

2）特集・寄稿・招待論文

学術・編集委員会において企画・承認された論文集ないし単一の論文である。構成、字数等は原則原著論文に準じる。但し、学術・編集委員会が指定した場合はこの限りではない。

4. 利益相反・著作権・倫理的配慮他

1）著者

著者は以下のすべてに該当するものであること。

(1) 研究デザインの作成、データ収集またはデータの解析と解釈に実際に携わっていること。

(2) 論文の草稿の記述の一部分あるいはすべてを担当していること、または批判的修正を加えていること。

(3) 出版される論文の最終稿を確認し了承していること。

2）利益相反

本会ホームページから「**国際臨床医学会　利益相反自己申告書**」をダウンロードして作成し、添付すること。特定団体との利益相反については、著者が責任をもってその旨を明示しなければならない。

3）謝辞、倫理委員会承認番号、利益相反の告示

必要に応じ、謝辞、所属あるいは研究に関連する施設あるいは組織の倫理委員会承認番号、および利益相反開示を本文末に告示すること。

4）研究対象に対する倫理的配慮

個人を対象とする研究などにおいては、倫理・個人情報について適切な配慮がなされ、組織内倫理委員会等で研究計画の倫理性の評価がなされたことを文中に明示すること。

研究に際しての倫理的配慮については、適宜ホームページ等で投稿時点での本会の方針を確認すること。

5）重複投稿の禁止

学術・編集委員会が認める特別な例外を除き、本誌に投稿された論文等はその採否が決定するまで国内・国外を問わず他誌に投稿することはできない。また、他誌に投稿中のものは受付けない。

6）著作権

著作権は論文等を学術・編集委員会で受け付けた時から本会に帰属する。論文等の著者は、すべての共著者から著作権の帰属について了解を得なければならない。本会ホームページから「**著作権譲渡同意書**」をダウンロードし、画像化した電子ファイルを添付して送付すること。査読などの結果、本誌が論文等を受理しない決定がなされたときは、その時点で本会は著作権を放棄し、同時に著作権は自動的に著者に返還されるものとする。

5. 執筆要項

1）日本語および英語の表記は、下記に準じること。

日本語の場合は新仮名遣いを用いて簡潔に執筆し、常用漢字を用いること。英語の場合、行間は 2 行（ダブルスペース）とする。医学用語は、日本医学会医学用語管理委員会編「医学用語辞典 Japan Medical Terminology、南山堂」に準じる。人名、地名、機器商品名などは、原語で記載する。薬品名は一般名で表記することが望ましい。商品名が必要であれば、一般名の後に併記する。数字は算用数字を用いる。度量衡は原則としてSI 基本単位を用いる。

2）専門的な略語を使用する際は、初出時に正式名を書き、それに続いて略語を括弧内に示すこと。

3）本文テキスト、図表はICMJE recommendations に準じ（http://www.icmje.org/recommendations/browse/manuscript-preparation/preparing-for-submission.html）、また、以下の規定に従うものとする。

(1) 1 ページ目を表紙（Title Page）とし、以下を記載する：①論文題名、②全著者名、③全著者の所属名（複数の施設がある場合、著書名と対応する所属名に番号を付すこと）、④コレスポンディングオーサーの著者氏名、住所、電話番号、Fax 番号、E メールアドレス、⑤ 25 字以内の日本語ランニングタイトル、⑥ 5 個以内の日本語キーワード、⑦研究費、⑧本文の字数、⑨図表の個数を記載する。日本語論文の場合、上記①～⑥に対応する英文をあわせて記載するのが望ましい。英語論文題名は 30 語以内、英語ランニングタイトルは 8 語以内とする。

(2) 2 ページ目に日本語もしくは英文の要旨（Abstract）を記載する。要旨は原則 IMRAD 形式に従い構造化する。日本語の要旨の文字数は 800 文字以内、英語の要旨は 450 語以内で記載する。

(3) 3 ページ目以降に、本文（背景、方法、結果、考察、文献、表、図（写真）の順に準備する。本文は 3,000～4,000 字程度とする。英語論文の場合 1,700 ～ 2,300 語程度とする。表または図は合計で 3 個以内、参考文献は 15 編以内が望ましい。

(4) 文献の記載方法

文献は引用順にナンバーリングし、本文中の引用箇所に肩付番号を付す（例 ...[1]）。

記載方法はICMJE recommendations に準ずること（https://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html）。欧文誌名は Index Medicus に準拠した略号を用い、和文誌名は略さないこと。

(6) 図・表・写真には図表番号（図 1、図 2、表 1、表 2、等）タイトルおよび説明文をつけ、1 枚ずつ別紙に作成する。説明文は図・表・写真の内容が容易に理解できるように簡潔明確にする。図中のシンボル、矢印、略語についても説明する。

(7) 用字、用語などの軽微な修正ならびに校正は学術・編集委員会に一任するものとする。改変のために大幅に内容が変化した場合には再査読を必要とすることがある。

6. 投稿ならびに問い合わせ連絡先

国際臨床医学会　学術・編集委員会
E-mail: journal@kokusairinshouigaku.jp

学術・編集委員会
（委員長）田村 純人
飯塚 陽子
小笠原 理恵
岡村 世里奈
押味 貴之
（幹事）田畑 知沙
野村 亜希子
山田 秀臣

Presented by Medical*Online